



Chu-Shi ACTIVITY REPORT

中四がんプロ活動レポート

Vol.60

Mar. 2022

愛媛大学 Ehime University

臨床腫瘍学教育課程がん専門医養成コース
●医学部学務課大学院チーム
TEL:089-960-5868

岡山大学 Okayama University

がん専門医養成コース
●医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ大学院担当
TEL:086-235-7986
がん専門職(がん専門・指導薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師)養成コース
●医歯薬学総合研究科等薬学系事務室教務学生担当
TEL:086-251-7923
高度実践看護師(がん看護専門看護師)コース・医学物理コース
●医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ保健学研究科担当
TEL:086-235-7984

香川大学 Kagawa University

がんプロフェッショナル養成コース
●医学部学務課大学院入学試験係
TEL:087-891-2075

川崎医科大学 Kawasaki Medical School

がん専門医療人養成コース
●事務部教務課
TEL:086-464-1012

高知県立大学 University of Kochi

APNコース
●教務支援部教育研究戦略課
TEL:088-847-8815

高知大学 Kochi University

がん専門医養成コース
がん専門薬剤師養成コース
●医学部・病院事務部学生課大学院係
TEL:088-880-2799

徳島大学 Tokushima University

がん薬物療法専門医養成コース・臨床腫瘍放射線医学コース
臨床腫瘍外科学コース
臨床腫瘍栄養学コース(博士前期課程・博士後期課程)
●蔵本事務部学務課第一教務係
TEL:088-633-9649
臨床腫瘍薬剤師養成コース
●蔵本事務部薬学部事務室学務係
TEL:088-633-7247
高度実践がん看護学コース・医学物理学コース
●蔵本事務部学務課第二教務係
TEL:088-633-9009

徳島文理大学 Tokushima Bunri University

臨床腫瘍薬剤師養成コース
●香川キャンパス教育・研究支援グループ(がんプロ担当)
TEL:087-899-7100

広島大学 Hiroshima University

がん専門医養成コース
がん専門薬剤師養成コース
がん看護高度実践看護師養成コース
医学物理士養成コース
●露地区運営支援部学生支援グループ
TEL:082-257-1538

松山大学 Matsuyama University

がん専門薬剤師養成コース
●薬学部事務室
TEL:089-926-7193

山口大学 Yamaguchi University

外科系腫瘍専門医コース
内科系腫瘍専門医コース
放射線腫瘍専門医コース
がん看護専門看護師養成コース
●医学部学務課大学院教務係がんプロ事務室
TEL:0836-22-2055

<http://www.chushiganpro.ccsv.okayama-u.ac.jp/>

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム Vol.60

□ 編集兼発行者
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム事務局
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL:086-235-7812/FAX:086-235-7045
ganpro@adm.okayama-u.ac.jp

□ 印刷所
有限会社 ファーストプラン



Mid-West Japan
Cancer Professional Education Consortium
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

第13回 チーム医療合同演習

「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」を目指した5年間

全人的医療を行う高度がん専門医療人養成 代表
岡山大学学術研究院医歯薬学域(医) 消化器外科学 教授 藤原 俊義

「第3期がん対策推進基本計画」に基づき、平成29年(2017年)に「多様なニーズに対応するがん専門医療人材(がんプロフェSSIONAL)養成プラン事業」がスタートして、早いもので5年の事業期間が終了しようとしています。最後の約2年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックが事業進捗の大きな障害となりましたが、そのような状況下でも各大学の教員、事務職員、大学院生などが協力し工夫し、新たな試みを実践してこられました。これも皆様の多大なるご協力・ご支援によるものであり、心より感謝申し上げます。



中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムでは、平成19年(2007年)に始まる2期10年の実績があり、がん医療の均てん化実現のために現場を支える多職種の人材教育や指導者育成に貢献してまいりました。第1期では中国四国地方の8大学、第2期では10大学、そして第3期では11大学が連携し、それまでの14のワーキンググループ(WG)に加えて、ゲノム医療、希少がん、小児がん・AYA世代がん、高齢者がんの4つの新WGを立ち上げ、これらの新たなニーズにも重点的に対応する教育プログラムを遂行してまいりました。

まず、それまで独自のeラーニングシステムを確立し維持運営してきた経験をもとに、これら4つのトピックスの概論を学ぶeラーニングコンテンツを作成し、すべての連携施設で視聴できるようにしました。また、急速に拡大しているがん遺伝子パネル検査などにも対応するため、新たに「がんゲノム医療人育成コース(通年コース・一日コース)」を立ち上げ、エキスパートパネルや遺伝カウンセリングも経験できる教育体制を構築しました。希少がんに関しては、骨軟部腫瘍をピックアップして中国四国地方の診療実績を把握することで、今後育成が求められる専門医療人を明らかにしました。小児がん・AYA世代がん、高齢者がんの分野では、インテンシブコースや市民公開講座を実施し、リカレント教育や社会啓蒙にもつながっています。さらに、コロナ禍にあっても評価されてきた教育は維持しようと考え、オンラインを活用して多職種の大学院生・教員が一堂に会するチーム医療合同演習を実施いたしました。遠隔からの参加が可能となったため、子育てをしながら学んでいる大学院生も参加できたと聞いていますし、参加人数も現地開催より増えたのはちょっとした驚きでした。

この5年間で、多職種の大学院生383名が入学され、161名の方ががん薬物療法専門医やがん治療認定医など、何らかのがん専門資格を取得されています。今後、がんプロで育成されたがん専門医療人が、それぞれの地方でのがん医療の均てん化とともに個々の患者のニーズに合わせた細やかな診療に取り組んでいかれることを期待しています。それこそが、「全人的医療」を目指した本事業の目標と考えています。

次期がんプロ事業は、残念ながらこれから策定予定の第4期がん対策基本計画が発出された後の公募と聞いております。少なくとも1年以上の空白期間が生じることとなり、事業継続に関してはそれぞれの施設で工夫いただく必要があります。ただ、コロナ禍での試行錯誤もそうでしたが、ハードルが高いほど連携は強まり、技術も進歩するものであります。中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムの各連携大学が足並みを揃えて進んでいくことで、本事業の益々の発展につながるものと確信しております。今後とも、中国四国のがん医療の充実のため、がん専門医療人のさらなる輩出につながるよう、皆様のご協力をご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

テーマ：「高齢者のがん治療」

日時：令和3年8月21日(土)13:00~16:30

会場：Zoomを使ったWeb開催

参加者：75名(学生51名、教員19名、事務4名、オブザーバー1名)

連携大学より学生・教員が参加し、「高齢者のがん治療」をテーマに第13回チーム医療演習を行いました。

特別講演では、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科心臓血管・高血圧内科学の大石充教授にご参加いただき、「高齢者評価をがん診療にどう生かすか？」と題して講演を行っていただきました。

話題提供では山口大学医学部附属病院腫瘍センターの井岡達也准教授から「山口大学における高齢者評価の取り組み」についてご説明いただきました。

その後、多職種が混在した10グループに分かれて症例(高齢者膀胱癌の1症例)を討議した後、グループ毎に討議内容の発表を行いました。

昨年に引き続き、2回目のオンライン開催となりましたが、参加者からはディスカッションを通して多職種連携の重要性、高齢者のがん医療についてとても勉強になった、などの感想が聞かれました。

学生・教員参加者内訳

	医師	看護師	診療放射線技師	薬剤師	管理栄養士	教員	合計
愛媛大学	1					3	4
岡山大学	25		3			6	34
香川大学	2						2
高知大学	4			1			5
高知県立大学		3				1	4
徳島大学	1			1	6		8
徳島文理大学						1	1
広島大学	2						2
山口大学	2					8	10
合計	37	3	3	2	6	19	70

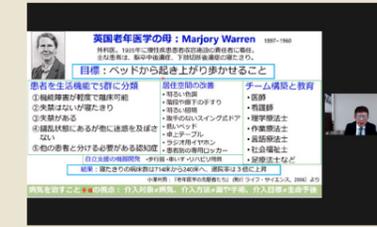
タイムテーブル

開始時刻	終了時刻	時間(分)	内 容	
12:45	13:00	15	入室開始	出欠確認
13:00	13:05	5	開会の挨拶	中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム代表 岡山大学学術研究院医歯薬学域(医) 消化器外科学 教授 藤原 俊義 先生
13:05	13:50	45	特別講演	「高齢者評価をがん診療にどう生かすか？」 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学 教授 大石 充 先生
13:50	14:02	12	質疑応答	
14:02	14:13	11	話題提供	「山口大学における高齢者評価の取り組み」 山口大学医学部附属病院 腫瘍センター 准教授 井岡 達也 先生
14:13	14:15	2	質疑応答	
14:15	14:25	10	休憩	
14:25	14:30	5	症例提示	「高齢者肺癌の1症例」 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 助教 新藤 芳太郎 先生
14:30	14:40	10	本セッションの説明	症例に関する質疑応答と グループワークの討議内容の提示
14:40	15:20	40	ワークショップ	自己紹介後、各グループごとに討議開始
15:15	15:20	5	終了アナウンス(チャット)	
15:20	16:15	55	グループごとの発表	各グループごとに討議内容を発表
16:15	16:28	13	解説	セッションの解説、まとめ
16:28	16:32	4	総評	全国がんプロ協議会 会長/ 大阪国際がんセンター 総長 松浦 成昭 先生
16:32	16:35	3	まとめと閉会の挨拶	中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム代表 岡山大学学術研究院医歯薬学域(医) 消化器外科学 教授 藤原 俊義 先生
16:35	16:40	5	写真撮影	集合写真撮影

開会の挨拶



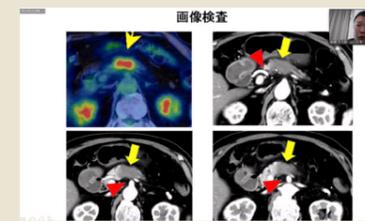
特別講演



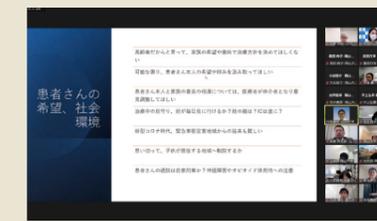
話題提供



症例提示



グループディスカッション



総評



集合写真



令和3年度 外部評価委員会

令和4年1月28日、オンライン会議システムを利用して外部評価委員会を開催しました。新規の4つのWG、および第2期事業から継続している多様な14のWGの担当者から、今年度の成果発表と第3期がんプロの総括、そして第4期がんプロに向けた目標について報告が行われました。

日 時:令和4年1月28日(金) 13:00~17:00
場 所:遠隔会議システム『Zoom』上でのオンライン開催

プログラム

I. 開会の挨拶(5分) 13:00-13:05

「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」代表
岡山大学学術研究院医歯薬学域(医) 消化器外科学 教授 藤原 俊義

II. 「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」の概要(10分) 13:05-13:15

コンソーシアム事務局長
岡山大学病院 低侵襲治療センター 准教授 香川 俊輔

III. 新規WGの現状と成果(1WG発表8分+まとめて質疑応答8分) 13:15-13:55

- ①ゲノム医療WG(岡山大学) 13:15-13:23
岡山大学学術研究院医歯薬学域(医) 臨床遺伝子医療学分野 教授 平沢 晃
- ②希少がんWG(愛媛大学) 13:23-13:31
愛媛大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍学講座 教授 葉師神 芳洋
- ③小児がん・AYA世代がんWG(岡山大学) 13:31-13:39
岡山大学学術研究院保健学域 看護学 教授 中塚 幹也
- ④高齢者がんWG(香川大学) 13:39-13:47
香川大学 医学部 臨床腫瘍学 教授 辻 晃仁

質疑応答 13:47-13:55

IV. がん専門医療人養成の現状と成果(1WG発表5分) 13:55-15:15

- ①がん薬物療法専門医WG(愛媛大学・岡山大学) 13:55-14:00
岡山大学学術研究院医歯薬学域(医) 消化器・肝臓内科学 助教 河野 吉泰
- ②放射線治療医WG(川崎医科大学・広島大学) 14:00-14:05
川崎医科大学 放射線腫瘍学 教授 勝井 邦彰
- ③緩和療法医WG(香川大学) 14:05-14:10
香川大学 医学部 臨床腫瘍学 教授 辻 晃仁

休憩(5分) 14:10-14:15

- ④腫瘍外科医WG(山口大学) 14:15-14:20
山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座 教授 永野 浩昭
- ⑤がん専門薬剤師WG(徳島大学) 14:20-14:25
徳島大学大学院医歯薬学域 医薬品機能性化学分野 教授 土屋 浩一郎
- ⑥がん専門看護師・リカレント教育WG(高知県立大学) 14:25-14:30
高知県立大学 看護学部 教授 藤田 佐和
- ⑦医学物理士WG(岡山大学) 14:30-14:35
岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域 放射線技術科学 准教授 笈田 将皇

- ⑧がん専門栄養士WG(徳島大学) 14:35-14:40
徳島大学大学院医歯薬学域 臨床食管理学分野 教授 竹谷 豊
- ⑨ファカルティ・ディベロップメント(FD)WG(川崎医科大学) 14:40-14:45
川崎医科大学 呼吸器外科学 教授 中田 昌男
- ⑩がん治療生涯教育WG(川崎医科大学) 14:45-14:50
川崎医科大学 臨床腫瘍学 教授 山口 佳之
- ⑪在宅がん医療WG(高知大学) 14:50-14:55
高知大学医学部医療学講座(公衆衛生学) 准教授 宮野 伊知郎
- ⑫精神腫瘍WG(岡山大学) 14:55-15:00
岡山大学病院 精神科神経科 助教 井上 真一郎
- ⑬歯科WG(岡山大学) 15:00-15:05
岡山大学学術研究院医歯薬学域(歯) 口腔顎顔面外科学 教授 佐々木 朗
- ⑭eラーニングWG(山口大学) 15:05-15:10
山口大学医学部附属病院 腫瘍センター 准教授 井岡 達也

休憩(5分) 15:10-15:15

V. ディスカッション <第3期がんプロの総括>(55分) 15:15-16:10

VI. 外部評価委員による審議(30分) 16:10-16:40

場所:Zoomのブレイクアウトルーム内

VII. 外部評価委員による講評(15分) 16:40-16:55

大江 裕一郎 国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 副院長 兼呼吸器内科長
荒尾 晴恵 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 看護実践開発科学講座 教授
滝口 裕一 千葉大学大学院医学研究院 臨床腫瘍学 教授
矢野 育子 神戸大学大学院医学研究科 薬剤学分野 教授
松本 陽子 NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長
太田 和樹 岡山放送株式会社 報道技術局 局長

VIII. 閉会の挨拶(5分) 16:55-17:00

「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」代表
岡山大学学術研究院医歯薬学域(医) 消化器外科学 教授 藤原 俊義



外部評価委員会にて各 WG から今年度の成果発表と第 3 期がんプロの総括、そして第 4 期がんプロに向けての目標について発表が行われました。

ゲノム医療 WG

● 令和3年度の評価項目

個人のニーズに応じてきめ細かく全職種に対応した人材育成

● 第3期がんプロの総括

がんゲノム医療の実装化プロセスと併走した人材育成

● 第4期がんプロに向けての目標

1. 未発症者の発症予防も含めたがんゲノム医療
2. 地域医療としてのがんゲノム医療
3. 全ゲノム解析に対する対応

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

希少がん WG

● 令和3年度の評価項目

- ・ 希少がんWGは、e-learningコンテンツの集積、ならびにインセンティブコース、夏期研修会を通じて、希少がんの知識習得に努めた。
- ・ 特に骨・軟部腫瘍に焦点をあて、当コンソーシアムでの診療実績を集計し、希少がん分野での、がんプロ教育や診療行為の方向性を議論した。

● 第3期がんプロの総括

希少がんの臨床において、薬物療法専門医の寄与ならびにその必要性が増加している。

● 第4期がんプロに向けての目標

- ・ 希少がんを扱う薬物療法専門医のネットワーク作りや、地域で奮闘する腫瘍内科医に対するサポート環境を構築（例えばIT技術等を用いること、中国・四国地区における均てん化を推進する必要がある。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

小児がん・AYA 世代がん WG

● 令和3年度の評価項目

1. 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムのeラーニングコンテンツの活用・充実に向けての検討
2. 小児がん患者の妊孕性温存に関するリーフレットの作成
3. 「がん患者の妊孕性温存に関する相談の状況」についてのアンケート調査
4. 小児・AYA世代がんの市民公開講座

● 第3期がんプロの総括

小児がんについては中国四国の病院の中でTV会議などが行われ、症例の検討や医療連携が密に行われている。AYA世代のがんについては診療科が多岐にわたるため連携が難しい面があるため、まず岡山大学で調査を開始した。国の方針もあり、各自治体で「がん患者の妊孕性温存」への助成制度が広がっている。がん患者やその家族が妊孕性温存に関する情報を得られ、相談することができるような体制や人材の養成を進める必要がある。中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムのeラーニングコンテンツのライブラリーを構築した。

● 第4期がんプロに向けての目標

1. 中国・四国における小児・AYA世代がんの診療体制の把握と充実
2. 広域がんプロ養成コンソーシアムのeラーニングコンテンツの活用・充実
3. 小児・AYA世代がんの妊孕性温存に関する相談体制の把握と充実
4. 小児・AYA世代がんに関する市民・教育関係者・企業等への啓発

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

高齢者がん WG

● 令和3年度の評価項目

- ・ 「高齢者がん」講義の開講
- ・ e-learningの収録・更新・希望調査の実施
- ・ 各大学でセミナーやシンポジウム等を実施
- ・ 日本老年医学会西四国地方会との協働を継続

● 第3期の総括

- ・ 「高齢者がん」講義の開講
- ・ e-learningの新規収録・更新各大学でセミナーやシンポジウム等を実施
- ・ 日本老年医学会との協働

● 第4期に向けての目標

- ・ 各大学でシンポジウム、セミナー、講習会等を実施
- ・ 履修生による「教育研究成果発表会」開催
- ・ 高齢者機能評価とがん薬物療法の安全性に関する前向き試験
- ・ 高齢者がん薬物療法拠点（案）構想

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

がん薬物療法専門医 WG

● 評価項目

- 本コンソーシアム内において、下記のフォーマットを構築した
- ① 豊富な症例を経験する環境・院内各科ローテーション制度の拡充
 - ② e-learningを用いたがん薬物療法の基本から専門的な内容の教育体制
 - ③ 中国四国のがん薬物療法専門医からの症例指導体制（ホームページ添削機能）

● 今後の目標

- # 1. コンソーシアム内外の連携強化
各科ローテーション研修制度のさらなる拡大
⇒ **更なるがん薬物療法専門医試験受験者数の増加**
- # 2. 若い世代にがん診療の重要性や魅力を説き、がん専門職を志す医療者が増加する環境を創造する
⇒ がんプロ学生ががん診療に関わる講義を受講しやすくなることで、専門医資格を取る意欲のある学生の増加につながる
⇒ がんプロ修了生が現場で活躍している様子を調査し講演会を企画；学生のモチベーション向上や新たな受験者のリクルートへつなげる

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

放射線治療医 WG

令和3年度の評価項目	実績/目標
大学院入学	1/4名
広報活動	医療従事者向け 13/10回 市民向け 4/2回
第3期がんプロの総括	実績/目標
大学院入学	6/20名：未達
広報活動	医療従事者向け 44/50回：未達 市民向け 15/10回：達成

オンコロジーカンファレンスは1回とカウント
 > 3期で29名入学、22名が専門医を取得しており、初期の修了者は後進の指導にあたっている。中国・四国地方のがん診療・研究・教育に大きく貢献してきたと考える。
 > 放射線治療の教育・周知活動は継続的に行っている。

● 第4期がんプロに向けての目標

- | | |
|-------|------------------------|
| 大学院入学 | 4名 |
| 広報活動 | 医療従事者向け 10回
市民向け 2回 |
- > 大学院入学者の確保と放射線治療専門医の育成
中・四国放射線治療夏季セミナー、医学生・研修医のための放射線治療セミナーなど、医学生・研修医向けの情報発信の場を活用、がんプロ事業の知見を生かして、今後もリクルート活動を継続する。
 - > 効率的な教育・広報活動
各大学で行われている様々な事業とがんプロ事業を連携し、中国四国地方の教官や大学院生、市民に効率的に情報提供する。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

緩和療法医 WG

● 令和3年度の評価項目

- ・ インセンティブセミナー、研修会、市民公開講座、関連講義等の継続的な実施（大学単独、WG共催）
- ・ 各大学でのeラーニングの更新・実施
- ・ 医療従事者に対する「患者・家族の視点に立った緩和ケア」の継続的な教育と啓発活動
- ・ 専門医/認定医取得への支援

● 第3期の総括

- ・ インセンティブセミナー、研修会、市民公開講座、関連講義等の継続的な実施（大学単独、WG共催）
- ・ eラーニングコンテンツの新規作成及び更新
- ・ 緩和ケアチーム加算件数の増加

● 第4期に向けての目標

- ・ がん治療の十分な知識・経験を持ち、医療チームとして緩和医療が実践できる人材の養成
- ・ 患者の視点に立った緩和ケア教育・啓発活動と地域（在宅を含む）との連携
- ・ 緩和医療に対する教育体制や緩和医療に従事するスタッフ確保に向け早期からの教育・啓蒙が必要
- ・ 継続的な教育環境の整備・提供のために教育機関への緩和ケアや腫瘍を専門とする講座の設置の要望
- ・ 大学院生の確保のため 認定医/専門医の取得に対するインセンティブの確保
- ・ 専門医取得のプレステップとしての認定医取得の推進（大幅な増数を目標とする）

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

腫瘍外科医 WG

● 令和3年度の評価項目

- (1) 外科系コースに16名の学生を受け入れた。修了者数は52名であり、多くのがん専門医療人を送り出すことができた。
- (2) 外科専門医・消化器がん専門医・がん薬物療法専門医など多種の専門医資格を183名が取得した。
- (3) 腫瘍外科手術映像のコンテンツを69件公開し、アクセス数は501回であった。

● 第3期がんプロの総括

- (1) 外科系コースに学生を受け入れ、広い地域にムラなくがん専門医療人を送り出すことができた。
- (2) 多様な新コース（ゲノム医療、希少がん、小児・AYA世代がん、高齢者がん）に対応した科目を外科系コースの学生も履修できるようカリキュラムを構築し、各領域の知識を習得したがん専門医療人を輩出した。
- (3) 腫瘍外科手術映像のコンテンツの充実に務め、がんプロ大学院生の術前教育および教員のFDとして利用した。

● 第4期がんプロに向けての目標

- (1) 外科系コースに引き続き学生を受け入れ、外科系専門医の取得数の増加を目指す。
- (2) 腫瘍外科手術映像のコンテンツの充実に努める。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

がん専門薬剤師 WG

第3期がんプロの総括

- ・ 研修会の継続的な開催、日本病院薬剤師会や臨床腫瘍薬学会の専門薬剤師研修生の受け入れを実施することができた。修了者が、がん専門・認定薬剤師を取得に至っていない。
- ・ 第3期に日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師（がん領域）に対して薬剤部内での研修はできたが、カンファレンスに参加できなかった。
- ・ がんプロ講演会を年間1回開催することが出来たが、新規テーマ（高齢者、AYA世代、ゲノム）に特化した内容が出来なかった。
- ・ 中四薬学会香川大会（高松市サンポートホール、2019/11/9）にて、AYA世代、がんゲノムのテーマで市民公開講座を開催したが、開催手続きのミスでがんプロ主催として認められなかった。
- ・ がんプロコースの大学院生の入学において、予定した入学人数を満たせなかった。

第4期がんプロに向けての目標

- ・ 新型コロナウイルス感染症が落ち着いた状況であれば日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師（がん領域）の多職種のカンファレンスに参加。
- ・ 空白の1年間（2022年度）は予算のわからない方法で、がんプロ講演会の開催準備を行いたい。
- ・ 日本医療薬学会の地域薬学ケア専門薬剤師の取得を目指す薬局勤務薬剤師への研究支援を行いたい。
- ・ 薬剤師のがん薬物療法のスキル向上のため、研修機会を継続的に提供する。がん専門薬剤師を目指す研修生の受け入れを継続し、社会人大学院（がん専門薬剤師養成コース）を紹介し、研究マインドを有する人材を育成したい。
- ・ 大学院の改組を通じて、ニーズの高まりを見せている社会人大学院生の獲得を目指したい。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

がん専門看護師・リカレント教育 WG

● 令和3年度の評価項目

1. がん高度実践看護師養成
APN養成コースの入学者数・修了者数・CNS認定者数、APNコースⅠの授業評価
2. がん医療における質の高いがん看護実践の推進
・ インテンシブコースⅠの授業評価およびアンケート調査
・ インテンシブコースⅡの参加人数・アンケート調査
・ APNコースⅡの参加人数・授業評価およびアンケート調査

● 第3期がんプロの総括：第3期がんプロ5大学の総括

1. がん高度実践看護師養成（5大学の5年間合計人数）
・ 入学者数：26名 修了者数：25名 ・CNS認定者数：21名
2. がん医療における質の高いがん看護実践の推進
1) がん看護学合同セミナー（徳島大学） 参加人数：246名
2) がん高度実践看護師WG講演会 参加人数：1,449名
3) がん高度実践看護師（APN）コースⅠ・Ⅱ 参加人数：127名
4) がん看護インテンシブコースⅠ 参加人数：30名

● 第4期がんプロに向けての目標

1. がん高度実践看護師養成
・ 受験生確保とがん高度実践看護師教育課程の継続（4大学）
・ がんプロ修了生によるAPNセミナーの継続 ・CNS認定試験受験の継続支援
2. がん医療における質の高いがん看護実践の推進
リカレント教育：①ジェネラリスト対象の教育活動、②スペシャリスト対象の教育活動

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

医学物理士 WG

● 令和3年度の評価項目

- ・ 学生受入、輩出数
- ・ セミナー活動（教員の相互交流/地域活性化）
- ・ 粒子線・高精度放射線治療に関する人材育成

● 第3期がんプロの総括

- ・ 終盤コロナ禍の対応となったが、学生受入・輩出数は目標を大幅に上回り、セミナー・教育活動を通じて、地域の活性化および粒子線・高精度放射線治療に関する人材育成の基盤を形成することができたと考ええる

● 第4期がんプロに向けての目標

- ・ 徐々にがんプロ人材が活躍しつつあるが、全体的に輩出者の資格取得率が良くないため、社会人教育の基盤構築と専門職の適正配置など現場の課題解決を支援していきたい。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

がん専門栄養士 WG

● 評価項目

- 1) 令和3年度は予定していた大学院の定員を満たせた。
平成29年度からの5年間では、博士前期課程はやや不足したものの、博士後期課程は予定した定員を充足できた。
- 2) 第1期からのがん病態栄養専門管理栄養士の合格者5名
- 3) 地域のがん診療連携拠点病院への就職

● 今後の目標

- 1) 大学院生の確保と教育の継続
- 2) がん病態栄養専門管理栄養士の受験支援
- 3) がん栄養セミナーの継続
→ 大学院臨床栄養学オープンカレッジとの連携
- 4) e-learningコンテンツの更新

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

活動報告

高知県立 がん高度実践看護師WG 講演会 in Kochi がん看護インテンシブコース II

テーマ：がん患者のライフステージの様々な新ニーズに応える高度な看護実践の展開
高齢がん患者のアドバンス・ケア・プランニング

日時：令和3年7月11日(土) 13:00~16:40

場所：Web 配信「Zoom」

参加者：261名

「アドバンス・ケア・プランニング～高齢者の意向を尊重した医療・ケアのために～」

神戸大学医学部附属病院 緩和支援診療科 特命教授 木澤 義之 氏

「高齢がん患者のアドバンス・ケア・プランニングへの看護実践」

国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター 老人看護専門看護師 高梨 早苗 氏



岡山 第7回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時：令和3年7月13日(火) 18:30~20:00

場所：Zoomによるオンライン授業

参加者：8名

「放射線治療品質管理基礎技術7(X線の線質)」

「放射線治療品質管理基礎技術8(吸収線量の計測)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 第8回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時：令和3年7月27日(火) 18:30~20:00

場所：Zoomによるオンライン授業

参加者：8名

「放射線治療品質管理基礎技術9(線量分布と散乱解析)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 Global Oncology Online Seminar in 2021

日時：令和3年7月28日(水) 19:30~21:30

場所：Zoomによるオンラインセミナー

参加者：35名

「米国でのロボット手術、最小侵襲外科の現状」

Minimally Invasive And Robotic Surgery in the United States

ハーバード大学 ベス・イスラエル・ディーコネス・メディカルセンター

高度消化管/最小侵襲外科フェロー 中元 啓太郎



ファカルティ・ディベロップメント(FD)WG

● 令和3年度の評価項目

コロナ禍の影響で今年度はFD研修は実施できなかった
アセスメントツール開発のための前向き研究が進行中

● 第3期がんプロの総括

2017年度からの5年間で、14名をFD研修に派遣した
特に、高齢者がんに対する教育・診療に注力するため、SIOGに4名の医師を派遣し有意義であった

高齢がん患者のアセスメントツールの開発に着手した

● 第4期がんプロに向けての目標

重点的な研修の継続
教育プログラムや、診療に有用なコンテンツの開発

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

がん治療生涯教育 WG

● 令和3年度の評価項目

小児がん、高齢者がん、希少がん、AYA世代がんの重点課題を中心に、講演会や
集合研修が各施設で実施された(実施済み33企画、予定14企画)。

● 第3期がんプロの総括

コロナ禍の中、リモートを駆使し、実施に至った。内容は、95%を超える参加者から
意義あることとしてアンケート評価された。

● 第4期がんプロに向けての目標

がんゲノム医療、小児・AYA世代・高齢者医療、希少がんを重点課題とし、がんの
診断と治療・ケアを網羅した生涯教育を実施し、地域のがん医療に携わる人材教育
や指導者育成、さらにはがん医療の充実に努めていく。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

在宅がん医療 WG

● 令和3年度の評価項目

・地域連携体制の構築
・医療従事者を対象とした研修会、講演会等の開催
・一般人等を対象とした公開講座や講演会の開催

● 第3期がんプロの総括

・各大学で実施している地域連携体制、およびがん診療体制の構築に関する
先進的取り組みの情報交換を行い、各大学での取り組みを推進させることができた

● 第4期に向けた目標

・地域連携体制の構築を推進する取り組みを継続する
・がん診療体制における都市部・地方の差を縮める取り組みを行う
・各県・大学の在宅緩和ケア地域連携バスを共有する
・医療従事者を対象とした研修会、講演会等の開催
・一般人等を対象とした公開講座や講演会の開催

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

精神腫瘍 WG

● 令和3年度の評価項目

1. 大学院講義(精神腫瘍学、対話学)
2. 多地点症例検討会の開催

● 第3期がんプロの総括

H29年度・H30年度・H31年度は例年通り複数の大学でCSTを開催
できた。R2年度はコロナ禍に対応し、オンライン上でのCSTや講演
会を実施した。

● 第4期がんプロに向けての目標

1. オンラインでの大学院講義
2. オンライン研修会の工夫
3. WG委員の意見交換・情報収集

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

歯科 WG

● 令和3年度の評価項目

医学部・歯学部が併設する大学病院ならびに中核病院の歯科口腔外科医には、がん治療認定医(歯科口腔
外科)の取得を、顎口腔機能の回復・維持にかかわる歯科医師、歯科衛生士などの医療従事者に対し
ては、がん医療における最新の知識の修得と多職種連携の実践を通じたがん医療における歯科の役
割についての意識・技術・知識の充実に努める。

● 第3期がんプロの総括

がん医療(口腔癌を含む)における従来の外科療法・化学療法・放射線療法に加え、分子標的治療
や新たな免疫療法・ゲノム医療に関する教育を歯科医師(口腔外科、歯科放射線科、一般歯科)な
らびに歯科医療従事者に行うことができた。またがん医療における歯科医師や多職種連携における
歯科の役割について討論と情報交換を行うことができた。また本コースでは、オンライン開催が利用しやす
いツールであることが認識された。

● 第4期がんプロに向けての目標

1. がん医療全般(口腔癌を含む)についての教育を歯科医師(口腔外科、歯科放射線科、一般歯
科)ならびに歯科医療従事者に行いがん医療における最新の知識の修得を目指す。
2. 周術期のみならず地域・在宅におけるがん患者の口腔ケアや口腔機能管理に関する教育を多職種連
携を基軸に歯科医師、歯科衛生士、看護師を中心に行う。
3. 年に1回のインテンシブコースを予定。オンライン開催で回数を増やせたい検討する。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

e ラーニング WG

● 令和3年度の評価項目

- (1) 新4科目を含む14件のコンテンツを新規掲載し、22件のコンテンツを更新した。
- (2) 第3期のアクセス数は平均して月236回/月であった。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響で対面授業が制限されていたが、eラーニング
を活用し教育の機会・質を維持することができた。
- (4) eラーニングの円滑な運用や情報共有のためWGを開催した。

● 第3期がんプロの総括

- (1) 新4科目を含め各大学が積極的にコンテンツを作成・更新し、アクセスの促進を
図ることで、eラーニングシステムを11大学で拡充・発展させることができた。
- (2) 掲載中のコンテンツは約3年程度で更新し、持続性のある安定的な教育コンテ
ンツの提供体制を構築できた。
- (3) セミナーや講演会のコンテンツの一部を一般公開し、がん治療に関する情報を
社会へ発信することができた。

● 第4期がんプロに向けての目標

- (1) 引き続きコンテンツを作成・更新し、教育の質を維持する。
- (2) コンテンツの充実に努め、とくに新4科目のコンテンツのさらなる充実に力を入れる。
- (3) eラーニングシステムを継続して使用できるよう体制を整える。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

岡山 第9回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時：令和3年8月3日(火) 18:30~20:00
 場 所：Zoomによるオンライン授業
 参加者：8名
 「放射線治療品質管理基礎技術10(線量計算システム)」
 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

広島 第18回 広島臨床遺伝セミナー(Web形式)

テーマ：ゲノム医学・医療における最先端研究と倫理を学ぶ
 日 時：令和3年8月7日(土) 14:00~17:00
 場 所：Web開催
 参加者：170名
 第1部：「希少難病の遺伝学的検査の現状と課題：検査と研究の間で」
 公益財団法人かずさDNA研究所 副所長/ゲノム事業推進部 部長 小原 収 先生
 第2部：「RCJの活動紹介とゲノム医療への期待」
 一般社団法人日本希少がん患者会ネットワーク(RCJ)副理事長/NPO法人キュアサルコーマ理事長 大西 啓之 様
 第3部：「ゲノム医療と倫理」
 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 医療倫理学・遺伝医療学 教授 小杉 眞司 先生

愛媛 第1回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会
第4回 AYA世代対応ネットワーク・妊孕性ネットワークセミナー

日 時：令和3年8月20日(金) 19:00~20:40
 場 所：Zoomによるオンライン開催
 参加者：148名
 【情報提供】
 FoudationOne Liquid CDx について 中外製薬株式会社
 【一般演題】
 「当科における転移性精巣腫瘍に対する治療前精子保存の経験」
 愛媛大学医学部附属病院 泌尿器科
 新井 明那 岡市 司 岡本 翔 毛利 農佑 曾我部 裕文 前田 晃宏 渡辺 隆太 野田 輝乙 西村 謙一
 福本 哲也 三浦 徳宣 宮内 勇貴 菊川 忠彦 雑賀 隆史
 「不妊治療中に診断されたStage I 乳癌の1例」
 愛媛県立中央病院 乳腺内分泌外科
 畑地 登志子 宮崎 一恵 松岡 欣也 佐川 庸
 「当院小児科におけるAYA世代の妊孕性温存に関する症例検討」
 愛媛大学医学部附属病院小児科¹⁾ 愛媛大学大学院医学系研究科小児医学²⁾
 中村 亮太¹⁾ 岩本 麻友美¹⁾ 宮本 真知子¹⁾ 宮脇 零士¹⁾ 加賀城 真理¹⁾ 森谷 京子¹⁾ 石前 峰齊²⁾
 田内 久道²⁾ 江口 真理子²⁾
 「当院のAYA世代乳がん患者に対する妊孕性温存の現状」
 愛媛大学医学部附属病院乳腺センター¹⁾ 愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科学²⁾
 田口 加奈¹⁾²⁾ 宇都宮 果歩¹⁾²⁾ 竹本 佳菜¹⁾²⁾ 日下部 恵梨菜¹⁾²⁾ 野田 令菜¹⁾²⁾ 青木 玲奈¹⁾²⁾
 西山 加那子¹⁾²⁾ 山下 美智子¹⁾²⁾ 村上 朱里¹⁾²⁾ 亀井 義明¹⁾²⁾ 高田 泰次²⁾
 「臨床試験への参加を通して妊孕性温存が可能であった1例」
 NHO四国がんセンター¹⁾ 住友別子病院²⁾ 県立新居浜病院³⁾ IVF大阪クリニック⁴⁾
 青儀 健二郎¹⁾ 高橋 三奈¹⁾ 森岡 由香¹⁾ 石井 歩¹⁾ 山本 紗弥華¹⁾ 大窪 友香子¹⁾ 寺本 典弘¹⁾ 杉森 和²⁾
 矢野 直樹³⁾ 福田 愛作⁴⁾

岡山 第10回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時：令和3年8月17日(火) 18:30~20:00
 場 所：Zoomによるオンライン授業
 参加者：8名
 「放射線治療品質管理基礎技術11(治療計画1：等線量曲線)」
 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 Global Oncology Online Seminar in 2021

日 時：令和3年8月26日(木) 19:30~21:30
 場 所：Zoomによるオンラインセミナー
 参加者：37名
 「CRISPR技術を応用した新規モデルマウスで消化管腫瘍を解析する！」
 PLAGL2 overexpression increases colon tumorigenesis in a CRISPR mediated mouse tumor model
 セントルイスワシントン大学医学部 消化器科 ポスドク研究員 賀島 肇



徳島 がん看護専門看護師コース 2021年 がん看護学合同セミナーI

テーマ：がん患者におけるリンパ浮腫の病態生理と症状マネジメントの実際
 日 時：令和3年8月29日(日) 9:30~17:00
 場 所：Zoom
 参加者：188名
 「リンパ浮腫の病態生理・画像診断・治療と管理」
 Macquarie University Faculty Medicine, Health & Human Sciences, Sydney, Australia
 Associate professor, MD, PhD 須網 博夫
 Macquarie University Faculty Medicine, Health & Human Sciences, Sydney, Australia
 ALERT Director, BAppSc(OT), PhD Louise Koelmeyer
 「医療保険制度・ICGとリンパマッピングの経験」
 徳島大学大学院保健科学教育部・リムズ徳島クリニック 看護師 高西 裕子
 「症状マネジメント」
 京都大学大学院医学系研究科 がん看護専門看護師 井沢 知子



岡山 第11回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時：令和3年8月31日(火) 18:30~20:00
 場 所：Zoomによるオンライン授業
 参加者：8名
 「放射線治療品質管理基礎技術12(治療計画2：患者データ、補正、セットアップ)」
 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

徳島 がん高度実践看護師WG講演会 in Tokushima がん看護インテンシブコースII

テーマ：がん患者のライフステージの様々な新ニーズに応える高度な看護実践の展開

高齢がん患者の意思決定に対する高度な看護実践

日時：令和3年9月4日(土) 13:00~15:30

場所：WEB開催

参加者：119名

【高齢がん患者の特徴を踏まえた意思決定支援】

社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院 聖隷浜松病院

緩和ケアセンター長 緩和医療科部長 山田 博英 先生

【高齢がん患者の意思決定支援における看護実践】

国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 サポートケアセンター

がん看護専門看護師 平野 勇太 先生

岡山 第12回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時：令和3年9月28日(火) 18:30~20:00

場所：Zoomによるオンライン授業

参加者：8名

【放射線治療品質管理基礎技術13(治療計画3：照射野、皮膚線量、分割)】

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 第13回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時：令和3年10月5日(火) 18:30~20:00

場所：Zoomによるオンライン授業

参加者：8名

【放射線治療品質管理基礎技術14(高エネルギー電子線治療)】

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

愛媛 第2回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会 愛媛大学医学部附属病院 緩和ケアセンター講演会

日時：令和3年10月7日(木) 17:30~19:00

場所：愛媛大学医学部40周年記念講堂

およびZoomによるライブ配信

参加者：89名

【死を前にした人にあなたは何ができますか?~ベストサポートケアの本質~】

横浜市 めぐみ在宅クリニック 院長 小澤 竹俊 先生



岡山 Global Oncology Online Seminar in 2021

日時：令和3年10月7日(木) 19:30~21:30

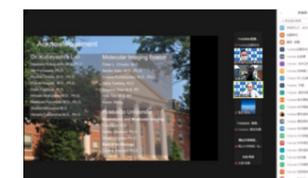
場所：Zoomによるオンラインセミナー

参加者：44名

【光免疫療法；癌治療への応用と今後の展望】

Near-Infrared Photoimmunotherapy (NIR-PIT); Review and Perspective for Cancer Therapy

米国国立衛生研究所 客員研究員 加藤 卓也



松山 松山大学大学院医療薬学研究科 がんプロ第8回 公開講座 松山大学薬学部 第22回 卒後教育講座

テーマ：がん基礎研究の最前線

日時：令和3年10月10日(日) 14:30~16:10

場所：Zoomを使ったWeb開催

参加者：101名

【細胞競合によるがん制御】 京都大学大学院生命科学研究所 システム機能学分野 井垣 達史 先生

高知 がんゲノム医療研修会WEBセミナー

日時：令和3年10月18日(月) 17:00~18:30

場所：Zoomによるオンライン開催

参加者：61名

【がんゲノム医療とは】 がんゲノム医療センター副センター長 前田 広道

【がん遺伝子パネル検査の流れについて】 がんゲノム医療コーディネーター 小松 美帆

【検体の取り扱いについて】 病理診断部 光国 明日香

【がんゲノム医療における今後の展望と課題】 がんゲノム医療センター長 杉本 健樹

岡山 第14回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時：令和3年10月19日(火) 18:30~20:00

場所：Zoomによるオンライン授業

参加者：8名

【放射線治療品質管理基礎技術15(小線源治療)】 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

山口 がん高度実践看護師WG講演会 in Yamaguchi がん看護インテンシブコースII

テーマ：がん患者のライフステージの様々な新ニーズに応える高度な看護実践の展開 小児がんと看護

日時：令和3年10月22日(金) 17:00~18:30

場所：Zoomによるオンライン開催

参加者：15名

【小児がんの子どもと家族を支えるための看護師の役割】

独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 小児看護専門看護師/移植コーディネーター 坂田 友 先生

高知 第7回 ロボット手術セミナー

日時：令和3年10月26日(火) 18:00～
令和3年10月27日(水) 18:00～
場所：高知大学医学部附属病院
低侵襲手術教育・トレーニングセンター
(レジデントハウス1階)

参加者：19名

「国産手術ロボットシステムの概要」 株式会社メディカロイド マーケティング部 井田 城太氏



山口 第2回 がん治療スキルアップセミナー

テーマ：緩和ケア

日時：令和3年10月27日(水) 17:30～19:30

場所：山口大学医学部霜仁会館3階 多目的室

参加者：26名

「疼痛マネジメントと緩和ケアの実践①がん性疼痛の発生機序と薬物療法」

すえなが内科在宅診療所 院長 末永 和之先生



岡山 第15回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時：令和3年11月2日(火) 18:30～20:00

場所：Zoomによるオンライン授業

参加者：8名

「放射線治療品質管理基礎技術16(放射線防護)」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

広島 広島大学病院緩和ケアフォローアップ研修

日時：令和3年11月7日(日) 9:00～15:00

場所：広島大学病院 臨床管理棟3階 3F1・3F2会議室

参加者：25名

■オリエンテーション・挨拶 ■講義 アドバンス・ケア・プランニング
■アイスブレイキング ■グループワーク 苦痛緩和のための鎮静
■グループワーク 死が近づいたとき ■ふりかえり・まとめ

講師・ファシリテーター

鳥取市立病院 地域医療総合支援センター長 足立 誠司

広島市立安佐市民病院 精神科 主任部長 小早川 誠

社会医療法人仁寿会 加藤病院 診療統括部 副部長 上杉 文彦

広島大学病院 精神科 診療講師 倉田 明子

県立広島病院 薬剤科 薬剤師 笠原 庸子

広島大学病院 看護部 看護師 横埜 良江

岡山 オンライン市民公開講座「がんとともに生きる～患者さんに伝えたい4つのこと～」

日時：令和3年11月7日(日) 13:00～15:35

場所：オンライン開催(Zoom)

参加者：116名

「がん薬物療法への副作用対策～こんな時どうしたらいいの?～」

岡山大学病院 腫瘍センター 看護師長 西本 仁美

「がん患者さんの栄養療法の基本」

岡山大学病院 臨床栄養部 副部長 長谷川 祐子

「在宅がん患者さんに対する訪問診療支援」

訪問診療専門 つばさクリニック 院長 岡田 豊

「がんと共に暮らすための情報」

岡山大学病院 がん相談支援センター 医療ソーシャルワーカー 石橋 京子



山口 第3回 がん治療スキルアップセミナー

テーマ：緩和ケア

日時：令和3年11月10日(水) 17:30～19:30

場所：山口大学医学部霜仁会館3階 多目的室

参加者：31名

「疼痛マネジメントと緩和ケアの実践②病診連携における緩和ケアのあり方」

すえなが内科在宅診療所 院長 末永 和之先生



高知 がん治療医のためのがんプロweb講演会

テーマ：がん治療医と生殖医の連携を推進するために

日時：令和3年11月12日(金) 18:00～

場所：Zoomによるオンライン開催

参加者：37名

「高知県における生殖医療ネットワークの現状と課題」

高知大学医学部附属病院 産科婦人科 特任助教 山本 横平

「がん・生殖医療の実践－患者中心のシステムの構築に向けて－」

国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科 診療科長 清水 千佳子先生

岡山 第16回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時：令和3年11月16日(火) 18:30～20:00

場所：Zoomによるオンライン授業

参加者：8名

「放射線治療品質管理基礎技術17(品質管理)」

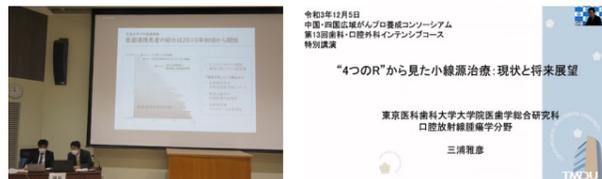
岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 第17回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時：令和3年11月30日(火) 18:30~20:00
 場 所：Zoomによるオンライン授業
 参加者：8名
 「放射線治療品質管理基礎技術 18(全身照射)」
 「放射線治療品質管理基礎技術 19(3次元原体照射)」
 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 第13回 歯科・口腔外科インテンシブコース

日 時：令和3年12月5日(日) 9:40~13:10
 場 所：Zoom上でのオンライン開催
 参加者：111名
 ■特別講演：「4つのRから見た小線源治療：現状と将来展望」
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔放射線腫瘍学分野 教授 三浦 雅彦 先生
 ■企画講演：「中国四国がんプロ歯科口腔外科インテンシブコースを振り返って」
 岡山大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面外科学分野 教授 佐々木 朗 先生
 ■多職種連携シンポジウム
 テーマ「がん拠点病院である大学病院における多職種連携システムの構築について」
 1)「広島大学病院におけるがん患者の合併症予防にむけた口腔管理の取り組み」
 広島大学病院口腔総合診療科 西 裕美 先生
 2)「徳島大学病院における周術期等口腔機能管理
 -医科歯科連携強化による周術期管理の質の向上を目指して-」
 徳島大学病院口腔内科 教授 青田 桂子 先生
 3)「香川大学医学部附属病院におけるチーム医療の取り組み-医学部口腔外科の立場から-」
 香川大学医学部歯科口腔外科学講座 中井 康博 先生
 4)総合討論



岡山 第18回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時：令和3年12月7日(火) 18:30~20:00
 場 所：Zoomによるオンライン授業
 参加者：8名
 「放射線治療品質管理基礎技術 20(強度変調放射線治療)」
 「放射線治療品質管理基礎技術 21(定位照射)」
 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

愛媛 第3回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会 愛媛がん疼痛セミナー

日 時：令和3年12月13日(月) 18:15~20:00
 場 所：Zoomによるオンライン開催
 参加者：148名
 「当院におけるがん性疼痛治療の実際」
 医療法人聖愛会松山ベテル病院 麻酔科 ホスピス医長 坪田 信三 先生
 「患者にあわせた疼痛治療薬の選択」
 島根大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 講師 橋本 龍也 先生

徳島 臨床腫瘍外科学コースハンズオンセミナー

日 時：令和3年12月18日(土) 9:00~12:00
 場 所：徳島大学 生物資源産学学部 創薬・医療機器開発施設
 参加者：10名
 「腹腔鏡手術における実践的対応力を鍛えよう」

広島 がん高度実践看護師WG講演会 in Hiroshima がん看護インテンシブコースII

テーマ：がん患者のライフステージの様々な新ニーズに応える高度な看護実践の展開
 個別化医療時代における高齢がん患者への治療と看護
 日 時：令和3年12月18日(土) 13:30~15:30
 場 所：Zoom ウェビナーによるオンライン講演会
 参加者：56名
 「高齢者機能評価を用いたがん診療～個別化医療を目指して～」
 独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 老年腫瘍科 消化管・腫瘍内科(併任) 医師 西嶋 智洋 先生
 「個別化医療を受ける高齢がん患者の意思決定を支援する看護」
 独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター がん相談支援センター がんゲノム・遺伝医療部
 がん看護専門看護師 遺伝・ゲノムコーディネーター 松谷 奈央 先生

岡山 第19回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時：令和3年12月21日(火) 18:30~20:00
 場 所：Zoomによるオンライン授業
 参加者：8名
 「放射線治療品質管理基礎技術 22(高線量率小線源治療)」
 「放射線治療品質管理基礎技術 23(前立腺永久挿入療法)」
 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

徳島 がん栄養学セミナー

日 時：令和3年12月22日(水) 17:00~19:30

場 所：ZOOMを用いたオンライン開催

参加者：50名

「アミノ酸トランスポーターを標的としたがんの診断と治療」

千葉大学大学院医学研究院薬理学 教授 安西 尚彦 先生

「メトトレキサート治療と葉酸代謝を中心とした栄養管理」

東京薬科大学薬学部薬物動態制御学 教授 井上 勝央 先生

岡山 第20回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時：令和4年1月18日(火) 18:30~20:00

場 所：Zoomによるオンライン授業

参加者：8名

「放射線治療品質管理基礎技術24(腔内照射)」

「放射線治療品質管理基礎技術25(画像誘導放射線治療)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 第21回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時：令和4年2月1日(火) 18:30~20:00

場 所：Zoomによるオンライン授業

参加者：8名

「放射線治療品質管理基礎技術26(陽子線治療)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇